

流山市第5次男女共同参画プラン 令和7年度事業評価について（概要）

- ・ 令和7年度の事業について、各事業担当課で、予定していた取組内容に対する実績を記入し、A～Dで評価を行いました。
- ・ 評価基準は、以下のとおりです。
 - A：事業を計画どおり実施し、目標を達成した、又は目標を上回る成果が得られた。
 - B：事業を概ね計画どおり実施し、目標を概ね達成した。
 - C：事業は実施したが、目標の達成が不十分であり、改善や見直しが必要である。
 - D：事業を実施しなかった、又は外的要因等により評価の前提となる実施ができなかった。

1. 指標一覧

指標一覧の網掛け部分は、令和7年度に目標値を達成した項目です。

21項目中7項目が目標値を達成しました。性別役割分担に関する指標では、「男性の家事・育児・介護に費やす時間（平日）（休日）」及び「市男性職員の育児休業取得率」が目標値を達成した一方で、「『男は仕事、女は家事育児』という固定的な見方をしている市民の割合」及び「審議会等（附属機関及び要綱、要領等による協議会等）への女性の登用率」は目標値を下回りました。

主な内容は次のとおりです。

指標番号1：国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合

まちづくり達成度アンケートから調査している内容で、令和5年度の85.5％と比較して2.9ポイント増加しました。

指標番号3・4：男性の家事・育児・介護に費やす時間（平日）・（休日）

まちづくり達成度アンケートから調査している内容で、令和5年度の平日1.0時間、休日1.5時間と比較して、平日は0.1時間、休日は0.2時間増加しています。女性と比較すると、女性の家事・育児・介護等に費やす時間は、平日2.8時間、休日3.0時間となっています。

指標番号5：市男性職員の育児休業取得率

令和5年度の70.3％と比較して16.8ポイント増加し、目標値を達成しています。

指標番号6：「男は仕事、女は家事育児」という固定的見方をしている人の割合

令和5年度の8.3％と比較して0.2ポイント増加しました。男女別で見ると、男性の10.5％、女性の6.3％が「男は仕事、女は家事育児」という固

定的な見方をしています。

また、1番多かった役割分担意識は「男女とも仕事を持ち、家事育児も互いに分担して行うことがよい」で、全体の85.0%となっています。

指標番号8：審議会等（附属機関及び要綱、要領等による協議会等）への女性の登用率

令和5年度の39.3%と比較して、3.4ポイント減少しました。令和7年度中に改選予定のある審議会等の担当課に対して、年度当初に女性委員の比率向上に関する調書作成を依頼し、比率向上の具体的な方策を検討する機会を設けました。公募委員の募集の際、女性委員の積極的な登用を推進していることや一時保育の利用が可能であることを明記するなどして女性委員の登用が増加した審議会等もありますが、学識経験を有する者に該当する女性が少ない、専門的見地を有する女性研究者が少ない等の課題もあります。

指標番号9：市女性職員の管理職への登用率

令和5年度の20.9%と比較して、3.9ポイント増加しました。

指標番号13：DVに関する相談件数

令和5年度の235件と比較して24件増加しています。

指標番号19：防災会議の女性委員の割合

令和5年度の28.2%と比較して9ポイント減少しています。

指標番号21：消防団の女性加入率

令和5年度の3.7%と比較して1.5ポイント増加し、目標値を達成しました。

2. 基本目標Ⅰ 多様性を尊重する意識づくり

事業No.1～8（P.2）の各評価を集計すると、

A評価	B評価	C評価	D評価
7	2	0	0

計9

- ・ 秘書広報課や企画政策課において、人権尊重や男女共同参画意識の醸成に係る啓発事業を行いました。（人権啓発物品の配布、中学生及び小学生を対象とした人権教室、人権週間や男女共同参画週間の周知啓発など） 図書館では、男女共同参画週間に合わせて関連資料の展示を行いました。
- ・ 女性の社会参画を推進するための女性向け啓発講座や、育児が楽しくなる父親

向けの講座など、男女共同参画に関する講座を複数開催しました。

- ・ 学校では、市内教職員を対象として、いじめの未然防止をテーマに道徳科における研修を行い、いじめ問題から人権教育のあり方を学びました。

3. 基本目標Ⅱ 自分らしく活躍できる環境づくり

事業No.9～32（P.3～P.4）の各評価を集計すると、

A評価	B評価	C評価	D評価
28	1	1	0

計30

- ・ ワーク・ライフ・バランスや育児・介護休業法に関する情報について、市ホームページへ掲載し周知を図るとともに、母子健康手帳交付面談時や両親学級、個別相談時に情報提供を行いました。
- ・ 市職員が安心して妊娠、出産、子育てができるよう、「職員のための子育て応援ハンドブック」の活用について通知し、育児休業等の周知を図りました。
- ・ 企画政策課や商工振興課において、再就職や転職、創業を希望する女性を対象とした講座等を開催しました。
- ・ 多様な人材が活躍できるよう職場環境の整備に取り組む市内中小企業者に対し補助金を交付しました。

4. 基本目標Ⅲ 生涯を通して健康で安心して暮らせる社会づくり

事業No.33～58（P.5～P.9）の各評価を集計すると

A評価	B評価	C評価	D評価
46	8	2	0

計56

- ・ DVや虐待に関するパネル・ポスター展や研修会及び講座等を実施し、虐待防止の意識啓発に努めました。
- ・ DVや虐待の相談や対応について、関係部署と連携し、速やかに情報の収集及び提供を行い緊急時に適切に対応しました。
- ・ DVや虐待及び困難を抱えている方への相談窓口について、市ホームページへの掲載、パンフレットやカードの配架、SNS等を活用し相談窓口の周知を図りました。
- ・ 男女ともに検診の重要性について広報や様々な機会を活用し啓発を行うとともに、健康相談等による情報提供や健康イベントを実施しました。
- ・ 自主防災組織や自治会等での防災講座の際に、多様性や女性への配慮等の内容も取り入れ、防災活動への参加を促しました。

令和7年度事業評価の内訳

A評価	81件	85.3%
B評価	11件	11.6%
C評価	3件	3.1%
D評価	0件	0%
計	95件	